

## 小学校部会 授業研究会の記録

記録者 宮崎市立赤江小学校 大脇 一洋

### 授業者ふりかえり

発言者	内 容
飴川小学校 今村教諭 4年	<p>【視点1について】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 一番工夫したのは導入であった。児童にとって驚きなどがあるように意識した。導入では映像資料を活用した。</li> <li>○ ねらいを明確にするための工夫として、ワークシートを活用した。その中で、イメージをもたせるために枠の大きさを変えるなどの工夫をした。メニューにはリクエスト給食の時に出てきたものを入れた。</li> </ul> <p>【視点2について】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 児童と教師のかかわり…「教師が児童に助言を与える」というかかわり</li> <li>○ 児童と教材のかかわり…学習カードを活用し、教師が児童の記述にコメントを書いて意欲を高めた。</li> <li>○ 児童と児童のかかわり…グループでの話し合い活動の中で取り入れた。</li> <li>○ 体の「成長」が児童にとってよりよいものになるようにした。</li> </ul>
吾田小学校 重山教諭 4年	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 教師が「わかる」ことが大切だと感じた。</li> <li>○ 「わくわく運動」について…日南市が作成した。心と体をほぐすことが目的である。児童は楽しそうに取り組んでいた。この運動は、学校全体で取り組んでいる。</li> <li>○ 学習形態について…個人がそれぞれ即興的に踊れるようになることを重視して指導してきた。個人→2～3人→グループという流れで学習を進めた。</li> <li>○ 児童相互の褒め合いが足りなかったため、児童を集めてよいところを出させた。資料に出ているポイントを視点として与えた。</li> <li>○ 学習カードに目を通すと、時間を追うごとに記述が変わってきた。(ポイントを押さえた記述が増えてきた。)これが「わかる」だと考える。</li> <li>○ 本時は「関心・意欲・態度」を中心に扱った。技能は本時では中心的に扱わなかった。</li> <li>○ 運動量について…表現運動では20分動けたらよいと考えている。</li> </ul>

### 全体協議

#### 【視点1】学習資料の意図的・計画的な活用について

##### 【4年 保健の授業】

G班 水俣教諭	○ 内容的に家庭科と重なっていた。また、情報量が多かった。指導内容の整理が必要であると感じた。
A班 田爪教諭	○ 画像があって分かりやすかった。栄養教諭の活用はよかった。
	○ 児童への情報不足の部分があったので、補足が必要であった。

**【4年 表現運動の授業】**

E班	○ 目標が達成できていた。児童は楽しそうに取り組んでいた。
佐々木教諭	○ イメージカード、ポイントの指導などの指導者の準備がよかった。
D班	○ 養護教諭、家庭科専科との連携も考えられる。養護教諭と連携すれば、身長のことなどにも触れられる。
川崎教諭	
I班	○ 過去の実践から…T2が必要か。学活との棲み分けが難しい。
山本教諭	○ 児童一人一人の実態に応じた「食の改善」が必要であった。

**【視点2】「かかわる」を意識した授業展開**

**【4年 保健の授業】**

A班	○ 児童相互のかかわりがもう少しほしかった。
田爪教諭	

**【4年 表現運動の授業】**

E班	○ グループみんなでかかわりながら大きな動きができていた。
佐々木教諭	
I班	○ ジャングルの動き方について、苦手な児童にとっては、教師がリードして例示したのはよかった。反面、教師の動きが児童に大きく影響する場合があるので気を付けたい。
野邊教諭	

**授業研究会 指導助言の記録**

記録者 川南町立川南小学校 川原 竜馬

指導助言者	内 容
南九州大学 人間発達学部 教授 宮内 孝	<p>○ 児童が「かかわりたいな」と思わないとかかわれない。「楽しそうだな」と思わなければ、笑えない。やってみようかなと思うことが前提となる。今日の子もたちは先生にかかわっていた、友達とかかわっていた。学級の雰囲気合う授業展開であった。何にかかわるか、学習内容にかかわらないといけない。教材がメインとなる。学習課題にかかわることで、友達とかかわるし、先生ともかわる。学習課題が明確だったということが、この2つの授業のポイントである。</p> <p>○ かかわってもいいという導入のよさ。映像が出たり、先生と一緒に動いてみたりというところが良かった。</p> <p>○ 表現はできたらしたくない内容。教師にとって恥ずかしい。表現はあるべき姿・正しい動きがない。だから教えるのが難しい。イメージ課題から動きへ、運動課題からイメージへという2つの考え方がある。先生の模範に対して、子どもたちがもっともっとやりたいと感じていた。</p> <p>○ 色々な手立てがある。いずれにしても肯定的な人間関係がなければ、授業が成り立たない。今日の授業は素晴らしい人間関係が見られた。体育を通して肯定的な人間関係を築いてほしい。学級経営の中核として体育を扱ってほしい。</p> <p>○ 保健学習について、昔は「雨降り保健」と言われていた。やらなくてもよいという存在だった。保健指導と保健学習の定義付けをした。保健指導は即実践。保</p>

<p>県教育庁スポーツ 振興課指導主事 原田 誠</p>	<p>健学習は、知識理解をしっかりと定着させる。</p> <p>【指導方法の工夫改善について】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ かかわることを中心とした研究をしていただいた。体育の学習を通して3つの観点を育てなければならない。</li> <li>○ 態度の指導が明確ではない。本時の授業ではとても明確になっていた。</li> <li>○ 2年ごとの系統性を意識して、どの時間に何を指導するのかというものが明確になっている。動きの中で対応したり、対比したりなど、分かりやすくなっている。単元計画もそれらの動きが分かりやすくなっていた。次の単元で何を学ぶかが非常に分かりやすく書かれていた。</li> </ul> <p>【意図的・計画的な資料の活用】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ イメージカードが児童の発想につながっていた。グループ活動にも活用できた。</li> <li>○ 児童の発達段階に適していた。</li> <li>○ 学習カードについて、互いのよさを認め合う自己評価ができていた。</li> </ul> <p>【表現の授業について】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 表現の授業、勢いがあった。協力して楽しい授業というものが一目で分かる授業であった。わくわく運動によって心と体がほぐれていた。ポイントをしっかりとおさえていた。先生の「早いね。」の言葉で動きが更に良くなった。太鼓を使っての指示などで時間に無駄がなかった。</li> <li>○ ジャングルでの動き、要所で上手く褒めていた。タイミングよく紹介していた。</li> <li>○ 子どもたちのかかわり、説明から発表など互いのよさを認めていた。</li> <li>○ 学習カードにコメントがよかった。意欲向上につながるアドバイスが書かれていた。グループでやると楽しかったという言葉は今後高学年につながる。</li> </ul> <p>【保健の授業について】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学んだことをもとに課題に直面した時に解決する力を着ける。自己決定・深い理解につながる授業が大切である。以前6年生の学習内容だったものが、4年生に移ってきている。移った背景を踏まえて授業する。興味があるが恥ずかしいという単元であり、導入が難しいが、スクリーンで入ったのがよかった。</li> <li>○ 問題点を個で考え、知識を入れて、集団で考えるという流れがよかった。</li> <li>○ 栄養教諭が入ることで難しい言葉を説明してもらうためにはよい。ことからをわかりやすく説明してもらうことは、有効な手だてである。</li> <li>○ 前時の学習カードを本時の授業とリンクさせるとよかったのではないか。せっかくつながりがあるのだから関連させると、より充実した授業となる。</li> <li>○ 態度の指導は運動の楽しみに繋がらなければならない。態度の充実には技能、思考・判断の充実と密接な関係がある。本日の授業にはそのようなところが組み込まれていた。友達のいいところを見つけて、それを工夫して自分の技能の向上につなげる。3つのバランスがよかった。</li> <li>○ 体育の授業を充実させることが大きくは生涯にわたって運動に親しむ資質や能力の育成につながってくる。先生方にとっては授業を充実させることが大切になる。</li> </ul>
--------------------------------------	---

